

教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

学年の目標

- (1) 曲想と音楽の構造などに関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

評価の観点

学期	月	内容のまとめ	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一学期	4・5・6・7月	おが情 うら景 を思 表情 情豊 浮か かに べな 歌な	歌唱： 校歌・ 浜辺の 歌・主 人は冷 たい土 の中に	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との 関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うた めに必要な発声・言葉の発音・身体 の使い方などの技能を身に付け、歌 唱で表している。	・旋律・形式・構成を知覚し、それ らの働きが生み出す特質や雰囲気 を感じながら、知覚したことと感 受したこととの関わりについて考 え、どのように歌うかについて思 いや意図を持っている。	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との 関わりに関心を持ち、音楽活動 を楽しみながら主体的・協働的 に歌唱の学習活動に取り組もう としている。
		う器曲 器楽 表現 を感じ 取り つて よ	器楽： アル トリ コー ダー	・曲想と音楽の構造と楽器の音色や 響きと奏法との関わりについて理 解している。 ・創意工夫を生かし、全体の響き や音などを聴きながら他者と合 わせて演奏する技能を身に付け、 器楽で表している。	・音色・旋律・テクスチャを知覚 し、それらの働きが生み出す特 質や雰囲気を感じながら、知覚 したことと感受したこととの関 りについて考え、どのように演 奏するかについて思いや意図 をもっている。	・曲想と音楽の構造との関わり に関心を持ち、音楽活動を楽し みながら主体的・協働的に器 楽の学習活動に取り組もうと している。
		景目 をし 思な いが 浮ら 、情	鑑賞： 春	・曲想と音楽の構造との関りについて 理解している。	・音色・旋律・テクスチャ・形式 を知覚し、それらの働きが生 み出す特質や雰囲気を感じ ながら、知覚したことと感 受したこととの関りについて 考えるとともに、曲や演奏 に対する評価とその根拠に ついて自分なりに考え、音 楽のよさや美しさを味わ って聴いている。	・曲想と音楽の構造や詩の 内容との関わりに関心 を持ち、音楽活動を楽し みながら主体的・協働 的に鑑賞の学習活動 に取り組もうとしている。
		特音 徴の をつ 生な が そ り 方 の	創作： 音の つ な が り	・音のつながり方の特徴について理 解している。 ・創意工夫を生かした表現で旋律 や音楽をつくるために必要な課 題や条件に沿った音の選択や組 み合わせの技能を身に付けてい る。	・音色・旋律・テクスチャ・形式 を知覚し、それらの働きが生 み出す特質や雰囲気を感じ ながら、知覚したことと感 受したこととの関りについて 考え創作表現をおこなっている。	・音楽活動を楽しみながら 主体的・協働的に創作 の学習活動に取り組もう としている。
		表を曲 現感 をじ や 工取 夫 っ し て よ う 歌 役 割	合唱： 各クラ スコー ラスコ ンク ール曲	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との 関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かし、全体の響き や各声部の音などを聴きながら 他者と合わせて演奏する技能を 身に付け、歌唱で表している。	・音色・旋律・テクスチャ・強弱 を知覚し、それらの働きが生 み出す特質や雰囲気を感じ ながら、知覚したことと感 受したこととの関わりについて 考え、どのように音楽をつ くるかについて思いや意図 をもっている。	・曲想と音楽の構造や歌詞 の内容との関わりに関心 を持ち、音楽活動を楽し みながら主体的・協働 的に歌唱の学習活動 に取り組もうとしている。

二 学 期	9 ・ 10 ・ 11 ・ 12 月	うの音の特徴を生かす方	器楽： アルトリコーダー（箏）	・曲想と音楽の構造と楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	・音色・旋律・テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	・曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
		日本の伝統音楽	鑑賞： 箏曲「六段の調」	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、我が国や郷土の伝統音楽の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	・音色・リズム・旋律・テクスチャ・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、我が国や郷土の伝統音楽の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
		をこめがら歌おう	歌唱： 校歌・赤とんぼ・夢の世界を	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声・言葉の発音・身体 の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	・旋律・形式・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図を持っている。	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
三 学 期	1 ・ 2 ・ 3 月	うの音の特徴を生かす方	器楽： アルトリコーダー	・楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法・身体 の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。	・音色・速度・旋律・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	・曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
		じつと聴こえる	鑑賞： 魔王	・曲想と音楽の構造との関りについて理解している。	・音色・旋律・テクスチャ・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
		評価方法		テスト		テスト ワーク

学習の進め方

- ・1週間に1回の授業のため授業を大切にすることと、授業内で内容を理解することを柱とし授業を展開していきます。
- ・毎時間、授業始めに忘れ物調べから始め、曲ごとにワークを記入させ習熟度を測ります。
- ・歌唱や器楽は、テスト(一人・ペア・グループ)を行い、その都度評価を伝えていきます。